

図 1-5 感染症診療の3要素

見本

2. 細菌感染症診療の進め方

1) 細菌感染症診療の3要素

細菌感染症の診療を行う上で、重要な3要素について図 1-5 に示す。これら3要素は相互に関連しているが、どれか一つでも誤った認識がある場合には細菌感染症の診療に支障を及ぼすこととなる。また、それぞれの相互関係を理解する上で知るべき知識についても合わせて記載している。すなわち、感染部位と微生物との関係性においては微生物の臓器指向性や病原性を、感染部位と抗菌薬との関係性においては、抗菌薬の体内移行性や薬物動態を、微生物と抗菌薬の関連性においては微生物の薬剤感受性や抗菌薬の抗菌スペクトルをそれぞれ理解する必要がある。

2) 細菌感染症診療の流れ

細菌感染症診療を行う上での一般的な流れについて図 1-6 に示す。まずは患者の免疫状態を含む全般的な評価を行い、その後、前述の3要素の把握のために、感染部位、原因微生物の推定・特定を行った後に、抗菌薬の選択を行うこととなる。以下に各ステップについて概説する。

(1) 患者の全般的評価

患者の全般的な評価は、感染症症例であってもなくても全ての患者で同様に行うことが大切である。感染症症例でないにもかかわらず抗菌薬投与を実施したりすることのないように、決して先入観を持たずに客観的に患者の状態を評価する必要がある。感染症診療において、特に重要なのは患者の免疫状態の把

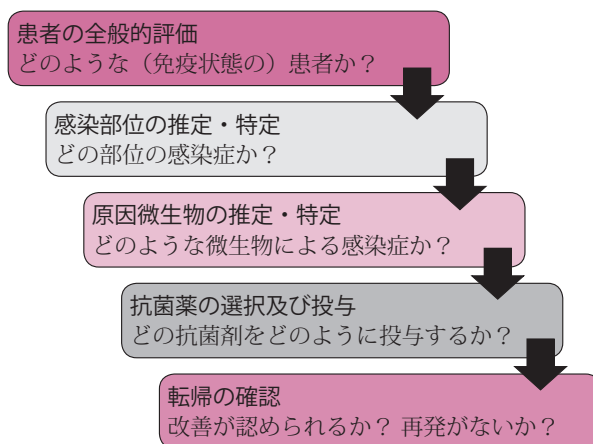


図 1-6 細菌感染症診療の流れ